

第4回 石神井庁舎跡敷地活用検討会議

議事録

日 時 令和7年1月9日（木）16時30分～18時30分

場 所 練馬区石神井庁舎5階 第1会議室、第2会議室

出 席

【委 員】小泉会長、高口委員、近藤委員、吉原委員、長濱委員、栗原委員、
森委員、関委員、沖委員、井越委員
(以上10名出席)

【高校生】3名

【区職員】企画部長、施設管理担当部長、都市整備部長、企画課長、
企画担当係長、事務担当職員

【コンサルタント】4名

傍聴者 1名

会議次第

- 1 開会
- 2 アンケートの追加分析結果について
- 3 ワークショップの進め方について
- 4 その他

1 開会

■企画部長

定刻となりましたので、第4回の石神井庁舎跡敷地活用検討会議を開催いたします。

本日の議題に入る前に、事務局から委員の出席状況と傍聴者の報告、資料の確認をお願いいたします。

■事務局

事務局から委員の出席状況についてご報告いたします。現在10名にご出席いただいております。また、2名の方から欠席連絡をいただいております。本日も区内の高校生3名に参加をいただいております。

本日の会議も公開となっております。傍聴の方が1名いらっしゃいます。

会議録については、いつもと異なる形式のため案内をさせていただきます。録音をすることはいつもと変わらないのですが、個人ワークとグループワークにつきましては、会議録を作成いたしません。検討結果の発表および質疑応答

につきましては、会議録を作成いたしますが、ワークについては作成をいたしませんので、予めご了承ください。会議録については、これまでと同様、委員のお名前は伏せた上で区のホームページに掲載させていただきます。掲載前に委員の皆様に確認をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、机上の資料の確認をさせていただきます。

＜資料確認＞

事務局からは以上です。

■企画部長

本日はワークショップということで、これまでの区民アンケートや、他自治体の複合施設視察、また、基本方針などを、参考にしつつ、楽しみながら多くの意見をいただければと思っております。

それでは、この先の進行は会長にお任せいたしますので、よろしくお願いいたします。

2 アンケートの追加分析結果について

■会長

それでは、次の議題に移らせていただきます。次第の2です。アンケートの追加分析結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

■コンサルタント

資料1、前回の検討会議で説明させていただいたアンケートの追加分析について、説明します。

前回の検討会議で、年代別、居住地別について、回答割合の傾向を把握したいというご意見をいただきました。事前に資料送付とご案内をさせていただいたため、説明は簡単にさせていただきます。

1 ページ目をご覧ください。年代別の回答割合を示しています。100%の棒グラフで示しており、一番左側が10代、右側が75歳以上であり、右にいくにつれて年代が上がるグラフとなっています。10代、20～40代、50代以上で棒グラフの色の付き方が変わっていることが分かります。色は、期待する機能を示しておりますので、3つの年代のカテゴリーごとに、期待する機能の傾向に差がある結果をご報告させていただきます。

続いて、2 ページ目をお願いいたします。こちらは居住地別の回答割合を示しています。練馬区外と書かれているグラフにつきましては、回答数が少なく、他とは傾向が異なるものになっています。

一番左側の郵便番号177と示しているグラフは、石神井庁舎周辺の居住者の回答になっており、他の郵便番号176、178、179の方々と、大きく回答傾向が

変わらないことが分かりました。一方、郵便番号 177、石神井庁舎周辺居住者の傾向を他と比較すると、「飲食をする」「会議・打合せをする」という意向がやや高く、「子どもを預ける」「リラックスする」の意向がやや低いという結果がございました。

続いて、3 ページ目をご覧ください。前回の検討会議でいただいたご意見の 2 点目として、未成年を含まない 2 人以上の世帯の回答者が DINKS なのか、あるいは子どもが独立した世帯なのかを把握したいとのコメントをいただきました。DINKS の定義は子どものいない共働きの夫婦やカップルとされていますが、アンケートの結果からは、いずれの世帯であるかは把握できない部分ですので、年代別の傾向を分析した結果をお示ししています。左側の大きい円グラフにて未成年を含まない 2 人以上の世帯の年代別割合を示しています。

4 ページ以降で未成年を含まない 2 人以上の世帯の年代別の期待する機能における回答数を参考までに示しています。

前回の検討会議で追加分析のご要望があった項目の結果報告は以上です。

■会長

ありがとうございました。今ご説明いただいた内容について、ご質問などございますか。

年代別の回答には面白い傾向があり、ライフステージが変わると意向が変わり、高校生に近い年代の方の意向も確認できたのかなと思います。

アンケートの結果全体を見ると、色々な機能やサービスのご要望が挙げられており、アンケートの結果のみから、どれを選択するか判断するのは難しいように感じますが、それほど多様なニーズがあることが分かったことがこのアンケート結果かと思います。

またご質問などがあれば、後からでもご質問いただければ、事務局の方で対応していただけるとと思います。

3 ワークショップの進め方について

■会長

それでは、次第の 3 に移らせていただきます。ここからワークショップになりますので、事務局より進行等をお願いします。

■コンサルタント

それでは、資料 2 をご覧ください。

1 ページ目に、進行表を掲載しています。まず、グループ内で自己紹介をしていただきます。その後、今回のワークショップの進め方についてご説明します。ワークショップでは、最初に個人ワークとして個人でアイデアを出す時間

を10分設け、つぎにグループワークに移ります。最後にグループごとの成果を全員で共有し、次回のワークショップの案内をさせていただきます。

2ページ目をご覧ください。グループ内で自己紹介をしていただければと思います。顔なじみの方が多いグループもあるかと思いますが、お名前、所属、お住まいの地域と、練馬区や石神井のここがすごいと思うところや休みの日の過ごし方などを話しながら自己紹介をしていただければと思います。4点目は練馬区・石神井のすごいところに限らず、他の観点で伝えたいことがあればオリジナルな自己紹介を加えていただいても構いませんので、グループごとに進めていただければと思います。8分なので、お一人1分目安で進めていただければと思います。それではグループごとに、よろしくお願いします。

<グループごとに自己紹介>

■コンサルタント

ワークショップの進め方を説明します。

まず、資料の3ページ、今回と次回のワークショップの概要についてです。今回の各グループのメンバーは町会、公募区民、高校生と属性で分けて、そこにファシリテーターが入っている形です。前回の検討会議で、ワークショップの時間が足りるかなどのご意見をいただいたことも踏まえ、次回の検討会議の進め方は、今回のワークショップの結果次第で、柔軟に対応させていただければと考えています。

続いて4ページをご覧ください。前回もお示したワークショップの留意点ですが、一番右側に記載しているとおり、とにかく楽しみましょうというところで、リラックスして進めていただければと思います。

5ページ目、今回のワークショップの進め方です。まずは各自10分間、個人ワークの時間を取り、その後65分間、グループワークの時間を設けています。ステップ1では、練馬区や石神井の特徴やらしさを考えていただき、さらに練馬区や石神井としてどんな機能や施設があると良いかを考えていただければと思います。次にステップ2として、石神井庁舎跡敷地の視点で、各テーブルに配置している敷地図も見ながら、この敷地にどのような施設があると良いかを考えていただければと思います。また、最終的には、このエリアをどのように活用していくかといったコンセプトをまとめていただければと思います。ステップ1とステップ2は20分と45分で分けていますが、目安として考えていただき、ファシリテーターと相談しながら柔軟に進めていただければと思います。最後には共有の時間を15分設けていますので、各グループ3分程度で発表いただき、会長からコメントをいただければと考えています。グループ内で発表者も決めていただければと思います。

続いて6ページ目をご覧ください。こちらは、グループワークの成果物のイメージを載せております。皆様の目の前に3つの付箋を用意していますが、練馬区・石神井の特徴・らしさを緑、練馬区・石神井としてあったら良いと思う機能・施設を青、石神井庁舎跡敷地にあったらいいと思う機能・施設はピンクの付箋に記入いただければと思います。どの色に書けば良いか悩むこともあるかもしれませんが、その際にはどちらの色でも構いませんので、なるべく多くのアイデアを出していただければと思います。

7ページ、8ページ目には、前回の検討会議でご指摘をいただいた点として、周辺の状況をプロットした地図を参考までに掲載しています。黄色が都市計画道路で、8ページには再開発が進んでいるエリアを水色で示しております。都市計画の道路が整備されると、駅前から1本の通りで計画地までアクセスできる立地となっています。

説明は以上です。質問がございましたら各グループのファシリテーターにお願いします。まずは、17時10分まで、各自アイデア出しの時間とさせていただきます。よろしくお願いします。

<個人ワーク>

■コンサルタント

10分経ちましたので、ファシリテーターの進行で、グループワークを進めてください。よろしくお願いします。

<グループワーク>

■コンサルタント

時間となりましたので、各グループの発表に移ります。

成果物も見ていただければと思いますので、グループ1のテーブルに集まってください。それでは、グループ1の発表をお願いします。

■委員

グループ1は、石神井庁舎跡敷地に特化するのではなく、地域全体を考えて、ここがどのような場所であると望ましいかという観点で議論しました。石神井公園駅は石神井公園があり、また、練馬区全体を俯瞰すると、農地が多く、農業が他区より栄えている地域と考えています。

意見が多く挙がったのが、駅から南に真つすぐ行くと石神井公園のボート池にたどり着く通りについてです。この旧商店街の通りが、バス通りと反対側にあり、現在車があまり通らない状況であることも踏まえると、今以上に人通りやにぎわいを増やし、駅から公園まで、より楽しめるところにしたいという意

見が挙がりました。また、富士街道から公園や旧商店街まで、より人を引き込めるような場所にもしたいと考えました。

これらを踏まえ、石神井庁舎跡敷地がどのような場所であれば良いかというところ、奇抜なものというよりは、石神井公園駅周辺の良さである「自然」を意識したうえで、若者や高齢者に利用いただけるような多目的スペースもあると良いと思いました。加えて、インパクトという観点で、最近流行しているボルダリング施設などがあり、ガラス張りにして、外から、子どもたちが遊んでいる様子が見えるような特徴・アクセントがあると良いと考えました。跡敷地は石神井公園駅から石神井公園に繋がる場所なので、デザインに重きを置くよりも、みどりが中心となれば良く、日常的に皆さんが入りやすいところになると良いという意見が挙がりました。跡敷地に建つ新たな建物が石神井公園までの入口となるようなイメージです。以上です。

■会長

ありがとうございました。グループ1は地域で長年活動されている方々のグループだったため、跡施設だけでなく、地域にどのような課題があり、どのような施設があるべきかを丹念に議論いただいた印象でした。地域の活動団体さんならではの意見がまとまったと思います。

■コンサルタント

それでは次に、グループ2の発表をお願いします。

■委員

練馬区のなかでも石神井エリアは、都内でもみどりが多い地域のため、ビルというよりは立体的な公園などを取り入れて、石神井公園や三宝寺池、松の風文化公園（旧：日銀グラウンド）、お寺などがあることを活かしつつ、まち歩きを楽しめる拠点としたいと考えました。「みどり」、「回遊性」がポイントになるかと思います。

加えて、青少年や子育ての居場所なども充実させることにより、練馬区に住みたい、子育てをしたいと印象付けられるような、石神井は住みやすい街ということで人が集まってくるような、少子高齢化などにも貢献できる街にしたいと考えました。

このエリアは小説家や、昔は物理学者など、様々な方が住んできたということもあり、文化の発祥地として、文化施設であるホールやプラネタリウム、水族館といった、自然を大切にしたい他にはない施設があると良いという意見も挙がりました。

駅、公園、石神井庁舎跡敷地を一体的に盛り上げるようなまちづくりができたら良いと考えます。以上です。

■会長

公園として考えてみることはアイデアとして革新的、先端的であり考えてみる価値があると思いました。また、グループ1にも共通しますが、対象地だけではなく、駅やその他周辺の観光やまち歩きの中継とするような点も大事な視点だと思いました。また、文化的な側面をどのように活かしていくかについても、今後考えていただきたいと思います。ありがとうございました。

■コンサルタント

それでは最後に、グループ3の発表をお願いします。

■高校生

私たちは、「ワクワクとゆるゆるの繋がり場」をコンセプトとしました。

まず、私たちも他のグループ同様、石神井公園駅と、石神井公園等の周辺施設を繋ぐ中継地点になるような場所になると良いと考えました。

その中でも、「ワクワク」とするところと、リラックスができるような「ゆるゆる」できる場所が両立している場所になると良いと考えました。「ワクワク」するようなところでは、例えば、料理好きな方が料理を出せるお店があったり、e-スポーツや防音室、自由に借りられるスペースが意見として挙がりました。「ゆるゆる」では、リラックスできるみどりの多い広場や、屋上にみどりのあるスペース、自習室などが挙げられました。

「ワクワク」しかないと疲れてしまいます。また、「ゆるゆる」しかない、たまには刺激が欲しくなると考え、両方がある施設が良いと思いました。施設のイメージとしては、ひょうたん型です。「ワクワク」と「ゆるゆる」が完全に同じ場所にあると、どんな場所なのか施設の意味やコンセプトが分からなくなってしまうのですが、その2つが繋がっていることによって、普段と違うことをやるきっかけとなって普段の日常がより良く見えたり、たまには違うことやってみようという新しい視点が生まれると考えました。そのため、「ワクワク」と「ゆるゆる」の2つが繋がっているような場所（ひょうたん型の真ん中部分）があると良いと思います。

また、周辺の石神井公園を始めとしたみどりや住宅街、騒音が少なくて平和なイメージを残したいと思い、今までとは違うような新しいものの作りを発展させたい思いがあり、それらが両立できれば良いと思います。以上です。

■会長

素晴らしい発表をありがとうございます。他グループでも出ましたが、人が集まってきてアクティブに活動するイメージと、一方で日常というキーワードが出ていたようにふらっと気軽に立ち寄れる場所というイメージを「ワクワク」と「ゆるゆる」というコンセプトでうまく整理していただきました。高校生のアイデア、発想力に驚きました。ありがとうございました。

■コンサルタント

こちらで第1回のワークショップが終了となります。

■会長

他にも、面白いアイデアが沢山出ていたかと思います。今日いただいた意見は、各グループの意見とグループ間で共通した意見をまとめていただきつつ、次回の検討会議で共有が出来ればと思います。また、今後どのような検討をすると、より具体的な施設のイメージが湧いてくるかについては、事務局の方で検討いただければと思います。

本日のワークショップは皆さん楽しめましたでしょうか。楽しかった方は挙手をお願いいたします。

(一同挙手)

皆さん楽しめたということで、素晴らしいワークショップになったかと思います。ありがとうございました。

4 その他

■事務局

それでは最後に事務連絡をさせていただきます。

次回第5回検討会議の案内を配布させていただきました。次回の場所は今回と異なり、エールでございますので、お間違えの無いようお願いいたします。

■企画部長

本日のワークショップは以上となります。皆様お気を付けてお帰りください。どうもありがとうございました。

以上